

---

9月4日 会場U 14:20-15:20

特別講演

インパクトファクターを越えて



渡辺 麻子  
トムソンロイター・学術情報ソリューション

学術雑誌の評価は大きく定性的な評価(ピア・レビュー)と定量的な評価(被引用数)に分かれる。後者の被引用数を用いた定量評価については様々な方法があるが、研究者の間でよく知られている指標のひとつが被引用数を元に計算されたインパクトファクターである。

本稿ではこのインパクトファクターの成り立ちと考え方、さらにその対象となる学術雑誌の評価プロセスを解説し、感性工学分野を例にいくつかの国際誌について引用の側面からの特徴を考察し、最後に学術雑誌の評価を高めるための方法について述べる。

---

## プロフィール

渡辺 麻子  
トムソンロイター・学術情報ソリューション統括マネージャー

2000年トムソン・ロイター(旧ISI)入社。引用索引データベースWeb of Scienceのプロモーションを通じて大学等の研究支援基盤整備や研究評価に携わる。  
現在日本マーケットの責任者をつとめる。